

令和2年度行政評価委員会 指摘事項と改善・見直しの検討状況

NO	局	所管部	施策	指摘対象	指摘事項	取組の実施時期	今後の取組の方向性
1	子ども未来局	子ども育成部	2-2 子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり	子どものくらし支援 コーディネート事業	きめ細かな支援の実現に向け、生活保護制度など親の生活困窮に関する事業・制度との情報共有や、連携して支援ができる仕組みづくりについて、更なる検討を進めること。	A:指摘を踏まえ、令和3年度(2021年度)に具体的な取組を実施	子どもコーディネーターは、子どもや家庭が抱えている困難の状況に応じて、関係部局や学校、地域の支援機関等とも連携しながら、必要な支援へのつなぎや助言等を行っている。 今後、生活保護の担当部局や区家庭児童相談室等、家庭の困窮に関わる部局における会議等の場を通じて、子どもコーディネーターの役割や機能について職員の理解を更に深めるとともに、養育環境面や学習面等の問題を抱え必要な支援につながないケースについて情報の共有を図り、円滑に支援ができるように連携を深める。
2	子ども未来局	子育て支援部	2-2 子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり	ひとり親家庭等 自立支援給付事業	ひとり親家庭の自立支援給付事業等に係る各種制度について、必要な人に必要な支援が十分に行き渡るように、よりわかりやすい情報提供や、様々な機会をとらえた周知・相談の場の創出に努めること。	A:指摘を踏まえ、令和3年度(2021年度)に具体的な取組を実施	今後、従前のチラシ・ガイドブック・ホームページ等による広報に加え、プッシュ型で支援対象者により働きかけができるようSNSを活用した広報を展開する予定。 また、ひとり親家庭向けの就業や生活の支援に係る各種イベントにおいても、本事業をはじめとした支援制度の積極的な周知や相談の機会の提供を図っていく。
3	子ども未来局	子育て支援部	2-2 子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり	ひとり親家庭学習支援 ボランティア事業	子どもの学習習慣の定着や学習意欲の向上、居場所づくりといった観点から、事業の目指すべき姿を再度確認した上で、人材確保や運営手法含め、より一層の充実を目指すこと。	A:指摘を踏まえ、令和3年度(2021年度)に具体的な取組を実施	今後、従前のホームページや広報誌に加え、新たにSNSを活用した周知により、有為なボランティア人材の確保に努めるとともに、ボランティアに対して研修等を実施することで、自己研鑽や主体性向上を図り、子どもの学習習慣の定着や学習意欲の向上につなげていく。 また、子どもの居場所としての役割や、同じ境遇の子ども同士のピアサポート機能を充実させるため、勉強以外のイベントや課外授業等の企画を積極的に検討していく。
4	経済観光局	産業振興部	5-2 創造性を生かしたイノベーションの誘発	NoMaps支援事業	事業による経済効果等の成果を数字で示すなど、広報をより一層工夫する観点を持ち、事業実施に努めること。	A:指摘を踏まえ、令和3年度(2021年度)に具体的な取組を実施	NoMapsは、「新たなビジネスを生み出し、加速させる」ための場を提供し、創業支援・新産業の創造・投資の促進を目的の一つとして事業を実施している。 令和3年度は、NoMaps実行委員会において、上記目的の達成に向け、経済効果等の成果を強く意識しながら事業を実施し、その成果をホームページや定期的なオンラインイベント等で積極的に発信していく。
5	経済観光局	産業振興部	5-2 創造性を生かしたイノベーションの誘発	IT利活用ビジネス 拡大事業	IT技術を必要とする個々の企業の状況やニーズ、求められる支援策等に関して、現状の検証を行い、ターゲットに応じた事業体系含め、より一層の充実を目指し、効果的な手法の検討を進めること。	A:指摘を踏まえ、令和3年度(2021年度)に具体的な取組を実施	令和3年度は、IT導入に対する企業のレベルに応じて、 ①IT導入を底上げする施策として「IT利活用ビジネス拡大事業」 ②既に一定程度のIT導入をしている企業のレベルアップ施策として、「DX推進事業」(データやデジタル技術を活用したビジネス変革を支援する事業)「IoT推進コンソーシアム事業」(産学官連携によるビジネス創出、人材育成、ビジネス協業を促進する事業)を実施する。 また、「IT利活用ビジネス拡大事業」において、IT活用についての企業へのヒアリング調査を実施し、企業の状況やニーズ等を把握するとともに、現状の検証を行い、より効果的な支援策を検討する。

令和2年度行政評価委員会 指摘事項と改善・見直しの検討状況

NO	局	所管部	施策	指摘対象	指摘事項	取組の実施時期	今後の取組の方向性
6	経済観光局	雇用推進部	6-1 将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用	札幌UIターン就職支援事業	就職支援の一環として、移住時の課題に関する現状把握、分析を進め、就職に伴う移住を検討する方の具体的な不安や懸念を解消できるようなアプローチ手法について検討を進めること。	A:指摘を踏まえ、令和3年度(2021年度)に具体的な取組を実施	移住希望者からの相談については、北海道がNPO法人ふさと回帰支援センターに委託・設置する「どさんこ交流テラス」でのU・Iターン就職相談会に、札幌UIターン就職センターのキャリアカウンセラーが参加する等、共同での相談対応を実施している。 令和3年度は、「どさんこ交流テラス」とUIターン就職センターにおける相互周知等の強化を行うことで一層の相乗効果を図るほか、札幌での生活体験等、札幌市での就職・移住後の生活をイメージできるような内容のVR動画を新たに作成し活用することで、UIターン希望者の移住に伴う不安解消に努める。
7	教育委員会	生涯学習部 学校教育部	6-1 将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用	教育の情報化推進事業	子どもたちの学ぶ力の向上につながるよう、端末の効果的な活用について、教員への利用支援含め、継続的な検証を進めること。	A:指摘を踏まえ、令和3年度(2021年度)に具体的な取組を実施	令和2年度は、GIGAスクール構想に基づく1人1台端末の活用を円滑に進めるため、端末を活用した学びの目指す姿や活用の具体例等を「1人1台端末活用のガイドライン【札幌市版】」としてまとめ、全学校に対して周知した。 また、教職員を対象とした「札幌市ICTフォーラム」を開催し、ガイドラインの内容やモデル校における取組内容について説明する機会を設け、ICT活用の方向性や授業等における具体的な活用イメージの共有を図った。 令和3年度以降は、GIGAスクールサポーターを各学校に派遣し、端末の基本的な操作やソフトウェアの活用方法等にかかる教職員向けの研修を実施する。 更に、端末の活用例や好事例等について、学校での取組を踏まえた検証を行うとともに、検証結果を適宜発信するなどして、ICTの一層の活用を図り、「学ぶ力」の育成の充実に努める。